

山形県感染症発生動向調査 週報

2026年 第10週

(2026年3月2日～2026年3月8日)

2026年3月11日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109

<定点把握感染症>

定点種別	感染症	全国		山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
		第9週	第10週	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	
急性呼吸器感染症	内科・小児科 (定点医療機関数)			(39)			(7)			(10)			(4)			(6)			(12)			
	インフルエンザ	86175	975	741	▼	203	150	▼	278	166	▼	121	95	▼	176	151	▼	197	179	▼	7182	
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	5105	85	103	△	10	9	▼	22	22		9	8	▼	7	20	△	37	44	△	1383	
小児科定点	(定点医療機関数)			(26)			(6)			(7)			(3)			(3)			(7)			
	RSウイルス感染症	1134	15	22	△	6	5	▼	3	3		1		▼	4	8	▲	1	6	△	250	
	咽頭結膜熱	493	2	9	△	2	2			3	△					4	△				109	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5096	99	144	△	31	45	△	22	56	△	1		▼	36	30	▼	9	13	△	1163	
	感染性胃腸炎	14538	234	232	▼	54	44	▼	67	60	▼	15	10	▼	51	57	△	47	61	△	1896	
	水痘	663	21	25	▲	9	5	▼	10	13	▲				1	6	▲	1	1		179	
	手足口病	123																			8	
	伝染性紅斑	286		4	△		1	△								1	△		2	△	68	
	突発性発しん	423	9	6	▼	2	3	▲	1	1					4	2	▼	2		▼	78	
	ヘルパンギーナ	29													1.33	0.67		0.29			2	
流行性耳下腺炎	44	1		▼	1		▼													3		
眼科定点	(定点医療機関数)			(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
	急性出血性結膜炎	7																			0	
流行性角結膜炎	249	12	6	▼				12	6	▼										60		
基幹定点	(定点医療機関数)			(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	30																			1	
	クラミジア肺炎	5																			0	
	マイコプラズマ肺炎	119	2	1	▼	2		▼											1	0.33	△	36
	細菌性髄膜炎	9		1	△														1	0.33	△	2
無菌性髄膜炎	16																				1	

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

<通信欄>

〇トピックスで、「インフルエンザ」について掲載しています。

警報・注意報の基準値(参考値)

疾病名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<定点把握感染症 年齢別報告数>

種別点	感染症	年齢別														合計
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	741
	インフルエンザ	1	6	17	18	26	46	50	57	80	56	43	196	44	21	
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
4		4	3	3	3	2	2	4	7	2	5	3	8			
30～39歳		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～										
小児科定点	RSウイルス感染症	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	22
	咽頭結膜熱		1	2	4	1								1	9	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	7	9	14	14	27	12	17	15	24	2	1	144
	感染性胃腸炎		10	41	32	20	24	25	12	16	13	8	17	5	9	232
	水痘						3	1	4	1	2	5	9		25	
	手足口病														0	
	伝染性紅斑					1	1			1			1		4	
	突発性発しん		1	3		1	1								6	
	ヘルパンギーナ														0	
	流行性耳下腺炎														0	

<全数把握感染症>

感染症	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	3				1	第9週 追加報告(1)
百日咳					1	ワクチン接種歴:4回(1)

<トピックス>

インフルエンザ 警報レベル

第10週におけるインフルエンザの県定点当たり報告数は19.00で、4週連続警報レベルとなっています。型別ではB型の感染が主流となっています。今シーズン既にA型に感染した人もB型に感染する恐れがありますので、引き続き注意しましょう。

図1 インフルエンザ定点当たり報告数(全国及び山形県過去3シーズンとの比較)

図2 インフルエンザ型別報告数(2023/2024シーズン～)

【迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数】
A型:15件、B型:726件
(定点医療機関からの報告)

【インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 2025.9.1～2026.3.3)】
AH1pdm09:8件、AH3:236件、B型:75件
(今シーズン2025年36週～の患者検体より)

予防方法

- ・ 帰宅後や咳・くしゃみで口を押さえた後などは、**石けんで丁寧に手を洗い**ましょう。
- ・ 場面や状況に応じて**適切にマスクを着用**しましょう。
- ・ 室内は**適度な湿度(50～60%)**を保ち、こまめに**換気**をしましょう。

※インフルエンザについて、詳しくはこちらをご覧ください。➡ [山形県HP](#)
➡ [厚生労働省HP](#)

【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

感 染 症	全国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県) 第1~10週
	第9週	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)			(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	246507 64.96	2968 78.11	2952 77.68	▼	831 118.71	720 102.86	▼	522 52.20	565 56.50	△	368 92.00	375 93.75	△	516 103.20	517 103.40	△	731 60.92	775 64.58	△	27723

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

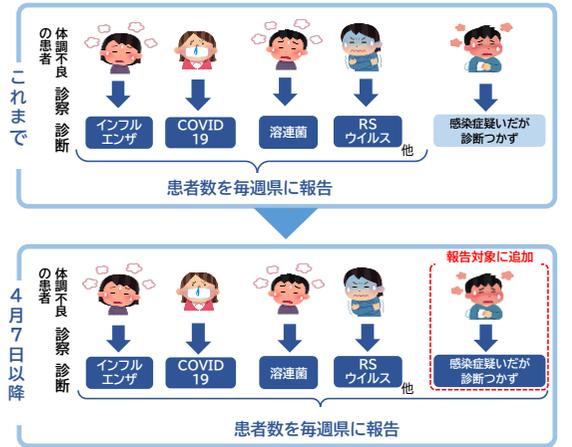
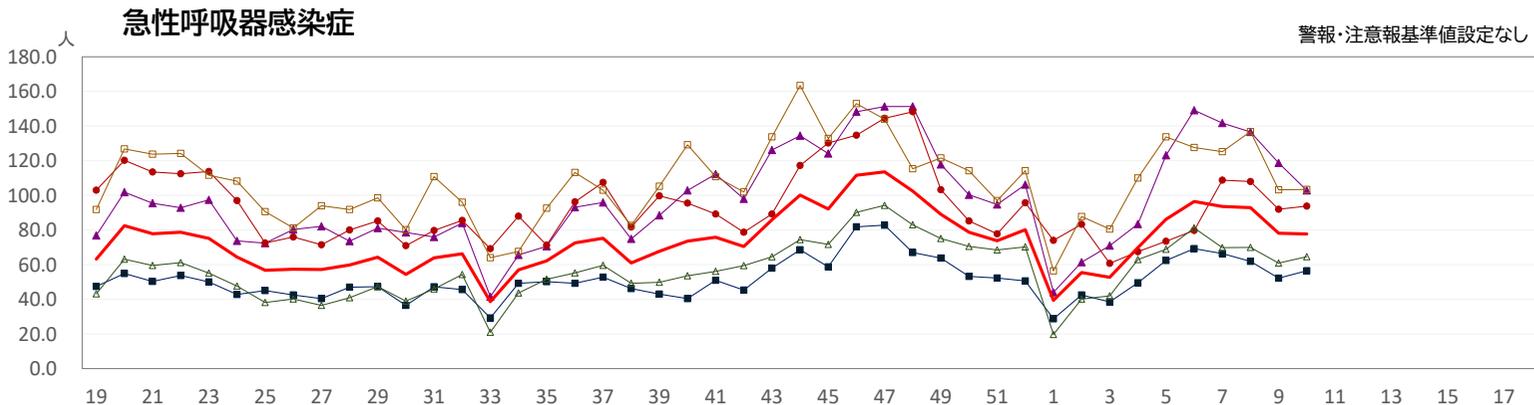
※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県												
	第10週												
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~	合計
急性呼吸器感染症	139	1092	816	392	95	67	80	69	51	49	44	58	2952

< 定点当たり報告数グラフ >



詳しくは
厚生労働省HPへ ▶▶▶

